

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和7年度鶴ヶ島第二小学校 第2回学校運営協議会
日時	令和7年9月9日（火曜日） 10時00分～11時30分
場所	鶴ヶ島第二小学校 図書館
出席委員	加藤会長、市川委員、細貝委員、清水委員、大竹委員、鹿内委員、 町田委員、砥川委員、田島委員、滝沢委員、岡田委員 (山崎小学校長)
欠席委員	久保島委員、廣木委員
事務局	森田正登教頭、森田雄樹事務主任
議題	(1) 学校運営協議会研修(7/18)報告 (2) 熟議「家庭でのタブレット端末の利用について」 (3) その他
配布資料	資料1 令和7年度全国学力・学習状況調査結果の概要と今後の取組について 資料2 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の児童質問紙の結果の概要
公開・非公開	公開
傍聴人数	0人
会議要旨	・学校運営協議会研修(7/18)の内容について、会長が報告をした。 ・「家庭でのタブレット端末の利用について」を議題にして、グループごとに話し合った意見を発表した。

【議事概要】

<会長>

先日の環境美化活動が熱中症対策のために、学校側と協議の上、安全を1番に配慮して中止という形になった。

こういった事態は、子ども達にも起きている状況である。暑さの影響で外での体育ができない。また、体育館も暑くて、なかなか運動させられないこともある。

先日、市P連の方でまとまって、小学校にエアコンを付けて欲しいという要望書を市へ提出させていただいた。

環境が変わっているため、運営協議会で話し合うことも年々多くなってくると思う。今回の熟議は、「タブレット端末の利用」という何年か前では無かった議題だと思う。それについて、皆様からご意見をいただきたい。

また、運動会が来月にあるため、皆様にご協力をいただきたい。

<校長>

会長からお話があった通り、暑い日が続いている。

なかなか子どもを外で遊ばせたり、運動させたりするのが危険な状況が続いていて、中止せざるを得ないような状況となっている。

そのような状況の中、エアコンの要望を出していただき、感謝している。

10月には運動会を行うので、皆様にもぜひ、子どもたちの頑張っているところをご覧いただき、温かい応援やお声がけをいただけるとありがたい。

(授業風景視察)

協議

議題(1) 学校運営協議会研修(7/18) 報告

<会長>

- ・学校運営協議会とは何かというような、運営協議会の在り方についての研修だった。
- ・運営協議会が、地域の方々であったり、色々な関係者が集まってやれていることが、まず素晴らしいこと。どうやったら、そういった人達を、学校の運営に携わるように出来るかが課題に挙がっていた。
- ・地域との関係性を作っていくにはどうしたら良いかという議題があった。関係性作りのために、保護者の方に、地域の方へ感謝の言葉を普段から呼びかけていくことの大切さを共有した。

議題(2) 熟議「家庭でのタブレット端末の利用について」

<事務局 教頭>

議題に関する本校の経緯の説明を行った。

- ・児童用のタブレット端末が貸与されて数年経ち、授業内での使用は、ほぼ一般化されてきている。
- ・タブレット端末を家庭に持ち帰っての使用について、本格的に取り組んでいかなければいけない状況になっている。
- ・持ち帰りの頻度の実際は、市の調査した結果、本校はあまり進んでいない実態がある。
- ・職員で検討した結果、運動会後を目安に、家庭に週3回程度持ち帰るようにしていく。
- ・持って帰るだけでなく、課題であったり、調べ学習を行ったりするために持ち帰りを進めていこうと方向性を定めた。
- ・ただ持ち帰れば良いというものではないので、今現在、クラスの方でタブレットの良いところ、心配なところを出し合った上で、家庭に持ち帰って、自宅でどのように使用するかの約束をそれぞれの家庭でしてくるように投げかけている。

<事務局 教頭>

学校運営協議会の皆様としては、家庭でのタブレット端末の利用について、どのようなことをお考えだったり、どのようなアイデアをお持ちだったりするかを集めさせていただきたい。

(グループに分かれ、「メリット、利点、期待できること」「心配、不安に思うこと」「ルールやきまりに盛り込めるとよいと思う内容」について、話し合いを行った)

●発表内容まとめ

<メリット、利点、期待できること>

- ・教師の丸付けや、集計の便利さがあると思う。
- ・どのようなプログラムが入っているかは理解できていないが、タブレット使用を想定する中で、画面の進行に合わせ、順次わかりやすく受け入れて理解することが出来る。
- ・画面を変えていくことを自分のペースで出来るため、自分の理解度に応じて、学習が出来るのではないか。
- ・小学校低学年であれば、パソコンの入口として、社会人としての必要知識や学習の姿勢が出来るのではないか。
- ・調べ事が容易であったり、復習や反復が簡単に出来る。
- ・実際にある例として、親子で料理レシピを使って、一緒に料理をするプロジェクトがある。
- ・なかなか出来なかったプログラミングの学習が、親世代も一緒に出来る。
- ・タブレットですぐに調べることで、家族でコミュニケーションがもっと増えていくのではないか。
- ・家族で一緒にアルバムを残していくことが出来る。
- ・タブレットを利用することで、学習の機会の格差を減らすメリットがあるのではないか。
- ・情報が集まるので、視野が広がる。
- ・情報共有が、やりやすくなる。
- ・学校と家庭の連携が深まる。
- ・興味のあることについて、深く知識を得ることが出来る。

<心配、不安に思うこと>

- ・ツールとしてパソコンやタブレットを使うのは必要であるが、良い情報や悪い情報がある。
- ・長時間行うのは目に良くない。曖昧にせず、親と家庭で管理してもらおう。
- ・情報の流出の危険と防犯セキュリティの危険。
- ・個人として中毒性があるって、SNSのトラブルの入口になったり、そういった不適切な利用があることが懸念される。
- ・ついつい、タブレットをやりすぎてしまうのではないか。
- ・タブレット学習のプログラムに沿って行っていくと受け身の姿勢が出来てしまい、自分の意欲で全体像を掴むことが劣ってしまうのではないか。
- ・活字離れや書く能力が落ちてしまうのではないか。
- ・親子のコミュニケーションが減ってしまう可能性もある。「お父さん、お母さん、教えて」がなくなってしまうことが出てきてしまうのではないか。
- ・危ないサイトを見てしまう。情報の正しい価値観の判断の分別が出来ない子ども達への不安。

- ・「なぜ？」と自分で考える力が、下がってしまうのではないか。
- ・紛失や故障の際に、何回までならちゃんと直ってくるのかということが、まだわからない。
- ・検索履歴のようなプライバシーへの配慮がどうなっているのか。
- ・タブレットの使い方がわからないという保護者へのタブレット教育をどうやって行っていくのか。
- ・タブレット使用側の道德感に個人差が出てしまうのではないか。
- ・家庭によって、タブレットに対する理解度に差があるのではないか。
- ・本を読む時間が減ってしまうのではないか。

<ルールやきまりに盛り込めるとよいと思う内容>

- ・タブレットの使用時間のある程度決めていく必要がある。
- ・プログラムがどうなっているかわからないが、考えるのが面倒くさいからとすぐに答えを表示しないように、答え合わせルールがあった方が良い。
- ・家庭で決めたルールを守らない子ども達への対応をどうしていくか、心配である。
- ・鶴二小でのタブレットの持ち帰りを導入後に、保護者から導入後のアンケートをして欲しい。悩む家族もいると思うので行って欲しい。
- ・タブレットを利用して良い場所を定める。

<事務局 教頭>

いただいたご意見やお考えを担任にも伝え、これからのルール作りであったり、皆様が安心して使えるような仕組みにしていきたい。

議題（3）その他

資料1と資料2をもとにした情報提供を、教頭が行った。

説明要旨（資料1）

今年度の鶴二小の6年生が行った全国学力・学習状況調査結果に関して、国語や算数の平均正答率及び平均正答数、また、生活についての質問紙調査結果について、全国との比較した結果を説明した。そして、これらの結果を受けて、学校の取組として、自尊感情の向上、対話していくことの楽しさに関して、引き続き取り組んでいきたい旨を話した。

説明要旨（資料2）

現6年生が令和6年度に行った全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果に関して、スクリーンタイムの状況、朝食を毎日食べているか、睡眠時間について、全国平均と比較した結果について説明した。タブレットについての熟議の件でもあったが、目の健康だったり、ずっと利用し続けるといった依存症にも触れながら、タブレットの使い方について指導をしていくので、ぜひ家庭地域でもご理解ご協力いただければと思う旨を話した。

事務連絡

- ・ 次回以降の開催予定 2月3日（火） 学校関係者評価について
3月17日（火） 令和8年度学校経営方針について
- ・ 令和7年度 西部地区地域学校協働活動実践発表会 11月28日
※参加は任意
- ・ 運動会 10月11日（土）

<事務局 教頭>
閉会宣言をした。